

高等学校 外国語科（英語）学習指導案

指導者 石原 義文

- 日時** 平成 28 年 10 月 15 日（土） 第 1 限（9：30～10：20）
- 場所** 第 4 研修室
- 学年・組** 高等学校Ⅱ年 4 組 43 人（男子 23 人，女子 20 人）
- 単元** Lesson 9 “The Underground Reporters”
PRO-VISION English Communication II（桐原書店）
- 目標**
1. 仲間と協力し、課題の解決のためにコミュニケーションを図る。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 2. 既習の知識と、題材で用いられる語法や文法を利用して、相手に意向を伝える。
(外国語表現の能力)
 3. 題材で用いられている語法や文法を理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

指導計画（全 6 時間）

第一次 教科書本文の内容・言語材料を理解する。 4 時間（本時 4 / 4）

第二次 課題について、互いに意見を述べ合い、情報を整理し、まとめて発表する。 2 時間

授業について

第二次世界大戦中、生徒たちと同年代のユダヤ人の若者たちが、絶望的な状況下で前向きに生きようとした証が「クレピー」という新聞であった。困難に立ち向かった彼らの姿が、時代を超えて生徒たちに勇気をもたらす教材である。最終的に自分たちが同じような状況にいた場合、果たしてどんなことができるだろうかなどを想像し、自分の思いを仲間に話したり、あるいは、仲間からの意見を聞きながら、自分の考えを明確化させる機会になるであろう。

本年度は、協同的な学習を進める中で、自らの学習に責任を負うことで、学習の深化を図りたいと考えている。自ら調べたことを、自らの口で仲間に伝える、教えるという作業を通して、自らの学習が深まるとともに、人の役に立つことの満足感、クラスひとりひとりのつながりを広げるきっかけとなることを期待している。

題目 互いに教えあい、学びあう授業を目指して

本時の指導目標

1. 自分自身の学習に責任を持ち、自分自身の役割を果たそうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
2. 与えられた情報・考えを理解し、自分の意見を表明する。(外国語表現の能力)
3. 題材の内容・語法・文法を、協力し合いながら、理解する。(外国語理解の能力)

本時の評価規準(観点・方法)

1. 学んだことについて、積極的に聞き手に伝えようとし、それに対し聞き手は積極的に関わることができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度/活動の観察、ワークシート)
2. 題材や様々な情報を、様々な活動を通して、理解できる。(外国語理解の能力/定期考査)
3. 自分の考えを、まとまりのある英文で表現できる。
(外国語表現の能力/パフォーマンステスト(後日))
4. 題材に関心をもち、内容を理解しようとしているとともに、自分たちの立場から題材とらえ、主体的に考えようとする。(言語や文化についての知識・理解/活動の観察)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
帯活動 ディスカッション (形態：グループ 学習：協同)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて意見を述べる ・互いの意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏ることなく，グループ全員の意見が述べられるよう配慮するよう促す。
前時の復習 (形態：グループ・ペア 学習：個別)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容について互いに確認をしあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことをきちんと評価するよう促す。 ・互いに自分の意見の根拠を示せるよう促す。
本時活動 題材の理解 (形態：グループ 学習：協同)	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート活動：自分の担当箇所について十分説明できるよう話し合う。 ・ジグソー活動：他グループからの意見を参考に，理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば，支援する。 ・全員が参加できるよう促す。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り，何を学んだかを考える。 	